

## カリキュラム

○選択科目 ●必修科目

科目区分	授業科目の名称	単位	修了要件	資格・免許に必要な科目			
			修了	幼児	小免	臨床	
子ども学基幹領域	子ども学研究特論	2	●				
	子ども学特講A	1	○				
	子ども学特講B	1	○				
保育・教育研究領域	保育学研究特論	2	○	○			
	教育の哲学	2	○	○	○		
	教育の制度と歴史	2	○	○	○		
	健康教育学	2	○		○		
	子ども芸術表現論	2	○	○			
	子ども文化特論	2	○				
	教育組織開発論	2	○	○	○		
	カリキュラム開発論	2	○	○	○		
	学習デザイン論	2	○	○	○		
	臨床発達研究領域	臨床発達心理学	2	○	○	○	●
臨床発達心理学研究法		2	○	○	○	●	
臨床発達支援論A		2	○	○	○	●	
臨床発達支援論B		2	○	○	○	●	
認知発達論		2	○	○	○	○	
生態学的発達論		2	○	○	○	○	
人間関係発達論		2	○	○	○	○	
発達障害支援論		2	○	○	○	○	
言語発達支援論		2	○	○	○	○	
臨床発達実習指導		1	○			○	
臨床発達実習		2	○			○	
子ども福祉研究領域		子ども福祉政策論	2	○			
		教育福祉連携論	2	○	○	○	
	子ども家庭福祉特論	2	○				
	ソーシャルワーク特論	2	○				
研究指導科目	子ども学特別研究ⅠA	1	●				
	子ども学特別研究ⅠB	1	●				
	子ども学特別研究ⅡA	1	●				
	子ども学特別研究ⅡB	1	●				
	修士論文	4	●				

開講形態について  
(2024年度)

選択科目のほとんどを実質的にターム制で開講しています。前期と後期それぞれをさらに前半と後半に分けて四半期とし、1科目当たり連続2コマ×8週での開講となります。

また、対面を基本としつつオンライン開講を組み合わせ、遠隔での受講も可能にしています。通学のしやすさと院生自身の時間を確保し、落ち着いて学修を進められるようにしています。なお、ゼミや必修科目、実習などは科目の特性に応じて開講形態は異なります。

[参考]

2024年度入学生適用のものとなります。

## 修了要件及び資格取得のための必要単位

● 修了要件は、子ども学研究科目22単位以上、研究指導科目8単位の計30単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本学が行う修士論文(または制作)の審査に合格すること。

● 幼稚園教諭専修免許状及び小学校教諭専修免許状取得の場合は、幼児または小免に必要な選択科目のうちから24単位を修得すること(但し、それぞれの一種免許状を免許法第5条の規程により取得済みの場合)。

● 臨床発達心理士(受験資格)資格取得の場合は、申請タイプの条件に合わせて、指定された科目20単位の中から必要な単位を修得すること。